



麻生多摩美の森だより

56

麻生区市民健康の森 —麻生鳥のさえずり公園—

麻生多摩美の森の会広報紙第 56 号 2019 年 7 月 8 日発行

発行人：会長 井上 正樹 編集者：田中 肇

昨年の反省と令和元年度の目標・抱負 会長 井上 正樹

会長就任 3 年目を迎え、昨年を振り返ってみましょう。私はまだ現役・フルタイムで造園会社の営業及び積算業務を担当しています。特に昨年末から新年にかけて現場代理人不足の折、現場に早朝から張り付き、会社に戻り、積算業務をこなすハードな状態が土日も続きました。会長不在時の代行を副会長の二人にお願いし、特に道路公園センターとの管理運営協議会との契約交渉に尽力戴き感謝しております。

昨年の幹事会は会長、副会長の 3 名で、こなしてきました。植樹祭・収穫祭は会員をはじめ、多摩美みどりの会、川崎・多摩美の山トラストの会、麻生プレーパークを創る会、多摩美子ども会、多摩美太鼓の会、アルプホルン演奏の新井夫妻等の皆様のご協力のお蔭で、無事終わることが出来ました。又、昨年新規会員のスコットランド人は北海道に転勤されました。ボランティアに対し、積極的だっただけに残念です。インド人の東京大学大学院生は忙しくなり、新たな外国人発掘に期待します。

令和元年の目標・抱負について

4 月 27 日の第 17 回通常総会で新たな役員 2 名が選出され、役員 5 名体制になり、本来の活動ができる状態になりました。広報担当の田中さんは勝田さんに加え 7 区交流会に出席しています。既に通常総会資料作成・編集にも活躍しています。又、豊田さんには畑の分科会で、先頭に立てのらぼう菜の植付を土壌の掘り起し、土壌改良迄、意欲的な活動は頼もしい限りです。又、本来の森の管理・萌芽更新の計画的な管理を中村さんを中心をお願いしています。又、幹事会も 5 名体制になり、風通しの良い、積極的な活動ができるよう、皆で頑張っていく所存です。副会長の中谷さんには事務局的な動きをお願いしています。

植樹祭・収穫祭の計画も若い人の意見を充分に取り入れて、小さな子どもたちが楽しく、森での経験が将来生かされるようなイベントにしたいと思います。会長として新たな会員が参加しやすいよう策を凝らしています。2 か月に 1 度の食事会も会員相互の親睦を深めるためにも継続していきます。

こもれびを訪問してみて

椿 由里子

先日、こもれびの会を案内していただく機会があった。

読売ランド前駅からよみうりランドへ続く遊歩道に沿って竹でできた柵がある。その奥に広がっているのが、こもれびの会が活動しているエリアだ。その広さは約6ヘクタールにも及ぶ。そこはまさに木漏れ日の差し込んだ美しい里山だった。

まず目に入ったのは広大な竹林だ。毎年春には一般の人と一緒にたけのこ掘りをするのだそう。コナラやクヌギは伐採して薪や炭として利用し、新しい切り株を萌芽更新という方法で再生させる試みを行っている。また、長崎で被爆したクスノキの種から育てられた苗木が植えられ、平和への願いと共に順調に育っている。

更に奥へ進むと、伐採した木や竹で作ったテーブルやベンチが並べられていた。かまどや物置小屋なども全て手作りだ。しかし、斜面での重労働の大変さや自分達だけで様々な作業を行うことの難しさもあるようだ。

また、地域の小学生の里山学習の場にもなっているそうだ。これからも、地域の憩いの場、学びの場として笑顔と活気に溢れる里山であって欲しい。来年は私もぜひたけのこ掘りに参加してみたいと思う。

多摩美の森のトピックス



写真：のらぼう菜の状況



写真：里芋は順調に育っています



写真：椎茸のホダ木を整理しました

新会員自己紹介

椿 由里子

息子に連れられて初めて多摩美の森に足を踏み入れた。幼い頃から川崎市で育ち、結婚後も麻生区に引っ越して十数年経つが、緑豊かな自然がこんな身近にあることを知らなかった。

趣味でベランダ菜園をする位の知識と経験しかないが、樹木のお手入れや畑の作業をお手伝いしながら季節の移り変わりを肌で感じる事が非常に心地よく、親子で活動日を楽しみにしている。細く長く活動のお手伝いに参加していきたい。よろしくお願いします。

椿 颯一郎

麻生区出身、麻生区育ち、現ざい小学3年生。2年生の時、学校の授業で多摩美の森の会にインタビューをした。その後、里いもほりに参加し、入会することを決めた。かんげいしてもらってうれしかった。

入会して数ヶ月たったけれど、休んだのはまだ1回。これからもできるだけ休まず、長く続けるのが目標だ。

加藤 むつ子

熊本県で生まれ、幼い頃は畑や川に囲まれた環境で育ちました。植物が好きで、フラワーアレンジメントを習ったり、ハーブの勉強をしたこともあります。詳しくはないけれど、道端にそっと咲く花にも目がいってしまいます。娘と孫が多摩美の森の会に入会し、楽しそうに活動しているのを見て興味を持ち、さっそく私も参加してみました。草花に接し、土に触れていると心が癒やされます。森の会の皆様には色々とお教わりながら少しでもお役に立てれば幸いです。

伊勢谷 能宣

川崎市に越してきたのは約2年前。

ウロウロしていたら多摩美の森に行きつき、当時2歳だった息子との「学びの場」として遊ばせて頂いておりました。去年の秋ぐらいだったか、「裸足になりたい！」と息子が森を駆け回り、枝を振り回しながら素足で落葉を踏みしめる姿を見て、森を保全する活動の尊さを実感しました。子供たちの環境を守るためにも、皆さんの活動に微力ながら貢献できればと思っています。

(たまに家族で参加します)



伊勢谷さん、秋之くん、展江さん（左から）



加藤さん、颯一郎くん、由里子さん（左から）

万福寺にんじん 2019

豊田雅章

今年も穴掘りから。初めてだった昨年より、栽培する面積を広くする。だから大変。

昨年は、2.0m×2.0m (4.0 m²) で、深さ 60~65 cm ほど。今年は 0.90m×12m (約 11 m²) で、深さ 110 cm。40 cm より深いところは、水はけ悪く、栄養乏しく、しかも固い粘土質の赤土層。掘り出すのがシンドイ。それ以上に苦勞するのが、代わりに入る黒土。かつて畑だった、少し離れたところから掘り出す。根がまっすぐ伸びるよう、砂のように細かくしなければならない。まずは、東側半分を掘り、黒土で埋め戻す。そのあと西側を。3月30日から掘り始め、6月1日。どうにか東側を埋め戻した。7月13日に種まきの予定はしているのだけれど……。



昨年は最も長いもので 61.5 cm。90 cm より長く、直径 4 cm 以上のにんじんをつくるには、栄養に富む土が欲しい。そんな土を昨年秋からつくっている。多摩美のクヌギ、コナラの落ち葉を集め、それらに家庭から出る生ゴミや米ぬか、馬糞を加えた。多くは堆肥になり、かろうじて間に合った。

今後の活動予定

副会長 中谷 一郎

第17回通常総会もお蔭様で無事終了しました。令和元年が5月から始まりましたが新幹事の中に情報等に詳しい方もおられるので、大切な書類を皆でもっと共有化を持たす為の協議を行っています、また連絡網と会の担当業務の簡素化も併せ検討しています。ぜひ会員以外の方も気楽に子どもさんと、森にお出かけ下さい。

今後の活動予定は下記の通りです。

- 7/6 (土) 里芋畑の草取り、下の草刈
 - 7/7 (日) 7区交流会 (公園緑地)
 - 7/15 (月) 休日、万福寺人参の播種予
 - 7/21 (日) 草刈、蔓の除去、清掃
 - 7/27 (土) 8町会盆踊りの支援
 - 8/3 (土) 草刈、夜、夏の夜空の観望会
 - 8/18 (日) 里芋畑の草取、草刈、清掃
 - 9/7 (土) 草刈、里芋畑の施肥、清掃
 - 9/15 (日) のらぼうの播種
 - 10/5 (土) 樹木の間伐、草刈、清掃
 - 10/19 (土) 麻生プレーパークの支援
 - 10/20 (日) 草刈、畑の整備、幹事会
 - 10/22 (火) 森の祭典、トラスト主催
- 作業時間は6月から9月までは9時から11時までです。

<http://web-asao.jp/hp2/tamami/>



←当会ホームページで本紙のバックナンバーもご覧ください。当会 Facebook ページはこちらです。→



<https://www.facebook.com/asaotamaminomorinokai/>

会員募集中 (年会費 1,000 円)

一度見学にお出で下さい。里山の楽しさを親子で味わって下さい。

皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。

お問い合わせ・連絡先：井上 正樹

090-6019-3788 famcv643@ybb.ne.jp